

ダイワ・ワールドボンド・ファンド (ダイワSMA専用)

運用報告書(全体版)

繰上償還

(償還日 2020年4月16日)

(作成対象期間 2020年2月28日～2020年4月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の公社債等、債券先物取引およびオプション取引に投資し、絶対収益の獲得をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／内外／債券／特殊型(絶対収益追求型)
信託期間	約14年11カ月間(2007年4月3日～2022年2月25日)
運用方針	絶対収益の獲得をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等、内外の金融商品取引所上場債券先物取引およびオプション取引
株式組入制限	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。各計算期末における収益分配前の基準価額(1万口当たり。)が10,000円超の場合、10,000円を超える額をめぐりに分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合など基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配)	標準価額		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
		税込み 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
10期末(2017年2月27日)	8,547	0	△ 11.1	75.7	217.0	4,174
11期末(2018年2月27日)	8,144	0	△ 4.7	74.4	177.5	2,018
12期末(2019年2月27日)	8,219	0	0.9	69.9	273.9	2,036
13期末(2020年2月27日)	9,721	0	18.3	64.4	237.7	2,390
償還(2020年4月16日)	9,075.54	—	△ 6.6	—	—	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

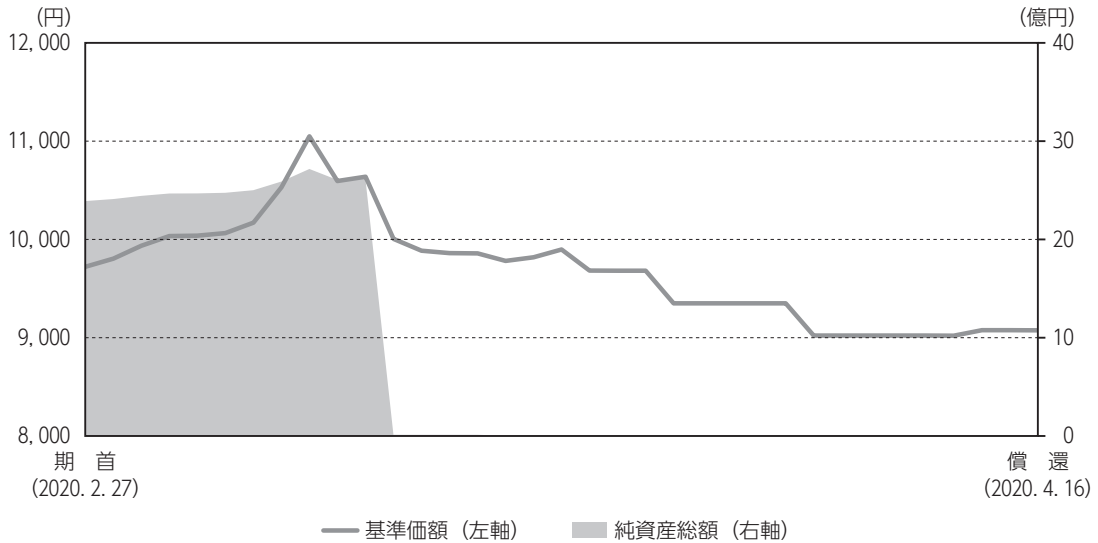
(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：9,075円54銭 (既払分配金5,800円)

騰落率：52.9% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

各地域のファンダメンタルズ分析およびマーケット分析に基づき、外貨投資割合や投資債券の年限変更等を行い運用した結果、外国為替相場の円高の影響をヘッジ戦略で緩和し、主として債券市場の上昇から基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ワールドボンド・ファンド（ダイワSMA専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 先 物 比 券 率
	騰 落 率			
(期首) 2020年 2月27日	円 9,721	% —	% 64.4	% 237.7
2月末	9,804	0.9	63.6	212.0
3月末	9,350	△ 3.8	—	—
(償還) 2020年 4月16日	9,075.54	△ 6.6	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2007. 4. 3 ~ 2020. 4. 16）

■グローバル債券市況

グローバル債券市況は、主要国市場が上昇しました。

当ファンド設定時以降、2007年からの世界的な金融危機や、その後の主要国の歴史的な低金利政策、量的緩和政策の導入などにより、2012年まで債券市場の世界的な上昇基調が続きました。世界経済が徐々に立ち直り始めたことにより、2013年末まで債券市場は下落したものの、世界的な低インフレ継続により金融当局が利上げに慎重な姿勢を維持したことにより、2016年央までは再び上昇傾向となりました。しかし11月に米国で市場想定外にトランプ氏が大統領選挙に勝利したことをきっかけに債券市場は下落を始め、米国の段階的な利上げを受けて2018年後半まで下落を続けました。その後は、米国の利下げ観測が高まったことを受け債券市場は上昇基調となりました。2020年には世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済に対して深刻な懸念が強まり、主要国で大胆な金融緩和措置が講じられ、債券市場は大幅に上昇して償還を迎えました。

■為替相場

為替相場は、円が主要投資通貨に対して上昇した後、反落しました。

当ファンド設定時以降、世界的な金融危機が到来したことによる投資家のリスク回避姿勢の高まりを受けて、主要通貨に対して円高基調が続きました。2011年3月の東日本大震災後には円キャリートレード（金利の低い円を調達して呼応金利通貨の資産に投資する資金の動き）の巻き戻しによりさらに円高が進行しました。2012年後半には、日本の第二次安倍政権がアベノミクスを提唱したことで、大胆な金融緩和策を背景に主要通貨に対する円安が大幅に進行し、2015年央まで続きました。その後は2016年後半まで円高に転じた後、再び円安に振れるなどを経て、2017年以降から償還までは比較的狭いレンジ相場となりました。

信託期間中の運用方針

主として、内外の公社債等、内外の金融商品取引所上場債券先物取引およびオプション取引に投資します。

投資対象となる公社債等の通貨は、「米ドル」、「カナダ・ドル」、「ユーロ」、「英ポンド」、「オーストラリア・ドル」、「ニュージーランド・ドル」、「日本円」とします。また、公社債等の種類は、投資対象通貨で発行される「国（政府・州を含む）、国際機関、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証する公社債等」とし、格付けは常時A格（ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上）相当以上とすることを基本とします。

各地域のファンダメンタルズ分析およびマーケット分析に基づき、外貨投資割合や投資債券の年限変更等を行い、絶対収益の確保をめざします。

為替ヘッジ取引を機動的に行うことにより、パフォーマンスの向上をはかります。

収益機会の獲得のため、債券先物取引およびオプション取引を用います。

大和証券株式会社から運用にかかる助言を受けて運用を行います。

信託期間中のポートフォリオについて

(2007.4.3～2020.4.16)

各地域のファンダメンタルズ分析およびマーケット分析に基づき、外貨投資割合や投資債券の年限変更等を行い、絶対収益の確保をめざしました。また、大和証券株式会社から運用にかかる助言を受けて以下の運用を行いました。

・債券

債券ポートフォリオは、ドル通貨圏（米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド）、欧州通貨圏（英国、ドイツ）および日本の各国国債への分散投資をしました。

設定時から、長期的には債券市場に対して強気のスタンスを継続しました。債券市場が調整局面入りしたと判断した場合、債券先物を使ったヘッジ戦略を取り入れました。

基本的には市場の上昇基調が継続しているとの判断に基づき、長期化したデュレーションを維持したことが収益に寄与しました。ポートフォリオのデュレーション調整は、債券先物の売買を中心に行いました。

・外国為替

外国為替部分はドル通貨圏、欧州通貨圏への分散投資をしました。

米ドル円やクロス円（米ドル以外の対円為替）の見通しに基づき、ヘッジ比率の調整を行いました。米ドル円やクロス円が円高傾向となると判断した局面では、高位のヘッジ比率とするなど、ヘッジ比率を機動的に変更しました。

当ファンドは、大口解約による純資産の急減により事実上運用が困難となったため、2020年3月中旬にすべての保有資産を売却するとともに、先物取引や為替ヘッジ等のポジションを解消しました。その後、わが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に移行しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当たり、第5期2,300円、第6期900円、第7期300円、第8期2,300円の収益分配を行いました。なお、第1期～第4期、第9期～第13期は基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 2. 28~2020. 4. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	10円	0. 103%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 680円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0. 066)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0. 029)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 029	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0. 029)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0. 028	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(2)	(0. 017)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	16	0. 161	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

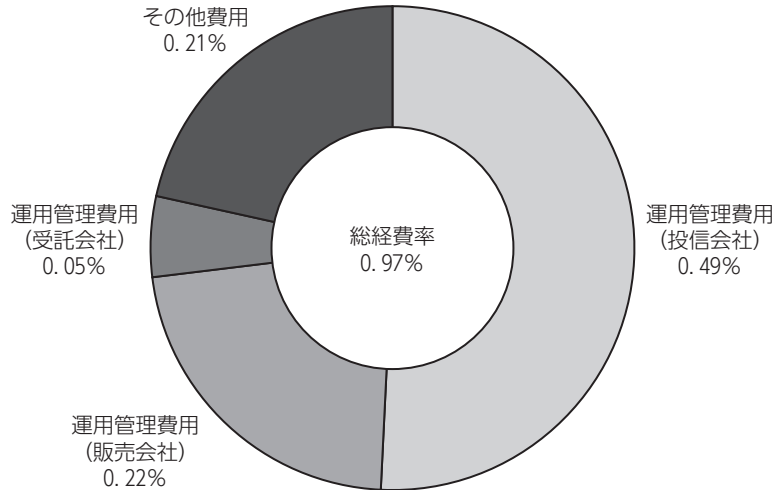
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ・ワールドボンド・ファンド (ダイワSMA専用)

■売買および取引の状況

公 社 債

(2020年2月28日から2020年4月16日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国債証券	—	103,540 (—)
外	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 2,576 (—)
	カナダ	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 2,122 (—)
	オーストラリア	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 3,168 (—)
	ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル —	千ニュージーランド・ドル 2,897 (—)
国	イギリス	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 2,369 (—)
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ —	千ユーロ 2,158 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

最終期末における残高はありません。

先物取引の銘柄別取引状況

(2020年2月28日から2020年4月16日まで)

銘 柄 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 債	US LONG BOND (CBT) (アメリカ)	百万円 446	百万円 1,039	百万円 —	百万円 —
	US 10YR NOTE (CBT) (アメリカ)	224	225	298	374
	US 5YR NOTE (CBT) (アメリカ)	202	203	270	404
	US ULTRA BOND CBT (アメリカ)	576	1,306	—	—
国 債	LONG GILT FUTURE (イギリス)	144	696	365	366
	EURO-BUND FUTURE (ドイツ)	628	1,078	421	425
	EURO-BOBL FUTURE (ドイツ)	2,606	5,134	163	164
	EURO BUXL 30Y BND (ドイツ)	1,537	2,773	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2020年2月28日から2020年4月16日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
		United Kingdom Gilt (イギリス) 4.5% 2042/12/7	242,834
		GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 6.25% 2030/1/4	206,193
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6.625% 2027/2/15	152,829
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 4.75% 2041/2/15	127,525
		52 20年国債 2.1% 2021/9/21	103,540
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 5.75% 2033/6/1	100,870
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.5% 2033/4/21	96,469
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5.5% 2023/4/21	76,423
		United Kingdom Gilt (イギリス) 8% 2021/6/7	73,058
		NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND (ニュージーランド) 6% 2021/5/15	68,797

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年4月16日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	2,168	100.0
投資信託財産総額	2,168	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年4月16日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	2,168,580円
コール・ローン等	2,168,580
(B) 負債	791,411
未払信託報酬	791,409
未払利息	2
(C) 純資産総額 (A - B)	1,377,169
元本	1,517,451
償還差損益金	△ 140,282
(D) 受益権総口数	1,517,451口
1万口当り償還価額 (C / D)	9,075円54銭

* 期首における元本額は2,458,934,210円、当作成期間中における追加設定元本額は1,517,451円、同解約元本額は2,458,934,210円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は9,075円54銭です。

* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は140,282円です。

■損益の状況

当期 自 2020年2月28日 至 2020年4月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	508,409円
受取利息	521,614
その他収益金	9,684
支払利息	△ 22,889
(B) 有価証券売買損益	27,681,126
売買益	167,834,722
売買損	△ 195,515,848
(C) 先物取引等損益	28,183,948
取引益	54,414,183
取引損	△ 26,230,235
(D) 信託報酬等	△ 1,129,978
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 118,747
(F) 前期繰越損益金	12
(G) 追加信託差損益金	△ 21,547
(配当等相当額)	(184,100)
(売買損益相当額)	(△ 205,647)
(H) 合計 (E + F + G)	△ 140,282
償還差損益金 (H)	△ 140,282

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2007年4月3日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年4月16日		資産総額	2,168,580円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	791,411円
				純資産総額	1,377,169円
受益権口数	10,000,000,000口	1,517,451口	△9,998,482,549口	受益権口数	1,517,451口
元本額	10,000,000,000円	1,517,451円	△9,998,482,549円	1単位当り償還金	9,075円54銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	11,993,662,901	11,411,686,142	9,515	0	0.00
第2期	8,993,662,901	8,309,355,931	9,239	0	0.00
第3期	9,354,311,375	8,448,065,780	9,031	0	0.00
第4期	4,234,298,617	3,823,158,203	9,029	0	0.00
第5期	2,073,251,348	2,123,401,312	10,242	2,300	23.00
第6期	2,909,211,285	2,940,898,471	10,109	900	9.00
第7期	4,330,346,527	4,383,365,742	10,122	300	3.00
第8期	10,551,864,849	10,707,963,268	10,148	2,300	23.00
第9期	7,510,354,789	7,218,218,661	9,611	0	0.00
第10期	4,884,387,341	4,174,707,084	8,547	0	0.00
第11期	2,477,924,870	2,018,026,736	8,144	0	0.00
第12期	2,477,871,515	2,036,568,758	8,219	0	0.00
第13期	2,458,934,210	2,390,442,334	9,721	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	9,075円54銭